

# CHALLENGEDAY

## チャレンジデー2013 実施の手引き



笹川スポーツ財団  
SASAKAWA SPORTS FOUNDATION



## チャレンジデーの目的

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分以上続けて運動やスポーツに参加した住民の参加率を競う、住民参加型のスポーツイベントです。住民のスポーツ参加のきっかけづくりや健康づくり、地域コミュニティの促進、住民の連帯感の醸成など、スポーツを通じた元気なまちづくりに最適なプログラムです。

また、多くの住民がチャレンジデーでスポーツに親しむことで、スポーツへの関心を高め、スポーツを好きになってもらい、日常的にスポーツをする人を増やすことが目的です。

チャレンジデーは1983年にカナダのサスカトーン市を中心とする50市町村で始まりました。笹川スポーツ財団では1993年から日本国内での普及活動を実施しており、今年で21回目となります。

2011年8月にスポーツ基本法が施行され、翌2012年3月に文部科学省による「スポーツ基本計画」の策定など、今後、地域のスポーツを取り巻く環境が大きく変化していくことが予想されます。笹川スポーツ財団では、国民の一人ひとりが自分の生き方に合わせたスポーツを楽しむ「スポーツ・フォー・エブリワン」社会の実現に向け、スポーツ振興に関する各種情報の収集や研究調査活動と、それに基づく実践検証事業としてチャレンジデーを実施しております。

チャレンジデーを通して、地方自治体と笹川スポーツ財団がスポーツ振興を目的としたパートナーシップを構築し、互いに連携することで「スポーツ・フォー・エブリワン」社会の実現を目指します。

# 目 次

1. 今後のスケジュール	.....	P.1
2. チャレンジデーの概要		
1) 概要	.....	P.2
2) 参加率の集計報告について	.....	P.4
3. 全国共通イベントの実施について	.....	P.5
4. 助成金の申請		
1) 申請団体	.....	P.6
2) 申請方法	.....	P.6
3) 申請書の提出期間・方法	.....	P.7
4) 申請書の内容確認（助成金額の決定）	.....	P.7
5) 助成金のお支払い（助成金振込）	.....	P.7
5. 事業完了報告書の提出		
1) 事業完了報告書の提出期間・方法	.....	P.8
2) 助成金額の確定方法	.....	P.8
6. チャレンジデーレポートの製作について	.....	P.9
7. チャレンジデー実施自治体へのサポート	.....	P.9



# 1. 今後のスケジュール（事務の流れ）

事業終了までの事務の流れは、概ね以下のとおりです。

主なスケジュール		内 容	
		実施自治体	笹川スポーツ財団
3/上旬～ 3/29	助成金の申請 (助成金申請書の提出)	所定の「助成金申請書」を提出 (期限内厳守)	助成金申請書の内容精査・確認 →助成金額の決定
4月上旬	助成金額の決定		
4月下旬	助成事業契約の締結	「助成金決定通知書」受理 「請書」の提出  ※請書は、助成金決定通知書に同封	「助成金決定通知書」の送付
5月中旬	助成金の支払い (実行委員会指定口座へ振込)	振込確認後、所定の「領収書」を提出  ※領収書は、助成金決定通知書に同封	実行委員会指定口座への助成金の振込
<b>5月29日(水) チャレンジデー2013 開催</b>			
6月下旬	レポート用報告書の提出 (チャレンジデーレポート製作)	所定の「レポート用報告書」を提出 (期限内厳守)	「レポート用報告書」内容の確認 →レポート製作
7月～8月 (予定)	セミナー・メダル認定証 授与式等の開催	スポーツとまちづくりに関するセミナー・メダル認定証授与式	スポーツとまちづくりに関するセミナー・メダル認定証授与式等の開催 →案内状の発送
9月末 (予定)	事業完了報告書の提出 (助成金額の確定)	所定の「事業完了報告書」を提出 (期限内厳守)	「事業完了報告書」の内容精査・確認 →助成金額の確定
10月～	事業の完了 (確定通知書の受理)	「確定通知書」の受理  ※助成金の返還がある場合は、期限内に返還(振込)	「確定通知書」の発送
<b>終了</b>			

※ 各提出書類の様式は全て笹川スポーツ財団のホームページからダウンロードができます。

<http://www.ssf.or.jp/practice/challenge/index.html>

※ 事務連絡(詳細)については、随時、メールによる「チャレンジデーニュース」でお知らせします。



## 2. チャレンジデーの概要

### 1) 概要

- 【日 時】 2013年5月29日 水曜日 午前0時～午後9時
- 【実施内容】 人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に、15分間以上続けて運動やスポーツに参加した『住民の参加率(%)』を競います。  
参加率の算出については、以下のとおりです。

$$\text{参加率(}\%) = \frac{\text{参加者数(人)}}{\text{人口(人)}} \times 100$$

- 【人 口】 2013年2月1日付の人口を使用します。  
・人口は、先般ご報告いただいた上記日付の「住民基本台帳登録者数」（外国人登録者含む）となります。  
※チャレンジデーへの参加は当日実施自治体内にいる方全員が対象となります。
- 【エール交換】 お互いの健闘を祈って対戦相手と実行委員会の代表（市町村長）によるエール交換を行ってください。  
・エール交換の方法は、電話やインターネットを利用したテレビ電話など様々な方法が考えられますので、対戦相手とご相談のうえ実施してください。  
・エール交換を行うことで、事前の情報交換もスムーズになり、自治体間交流のきっかけにもなります。  
・インターネットのテレビ電話を利用したエール交換などは、報道機関に取材してもらおう好機となり、その後、住民への周知にも有効です。
- 【参加対象】 当日、チャレンジデー実施自治体内にいる人であれば、誰でも参加可能です。  
・住民以外の通勤・通学者、観光客等も参加対象となります。  
・年齢や性別などの制約はありません。誰でも参加可能です。  
・観光名所や大規模な工場や事業所、学校などでの参加を積極的に働きかけることで、昼間の参加人口が高くなり、結果として参加率100%を超える場合もあります。
- 【実施場所】 自宅や学校、職場、スポーツ施設、広場など実施自治体内であればどこでも実施可能です。  
※実施自治体外での参加は無効となります。
- 【実施時間】 午前0時から午後9時までの間であればいつでも実施可能です。
- 【実施種目】 実施種目に制約はありません。15分間以上継続した運動やスポーツであれば、どのような種目でもかまいません。  
・15分間以上『継続』して運動・スポーツで身体を動かすことが必要です。  
・学校単位で参加する場合、体育の授業や運動会の練習、部活動は対象となりません。但し、休み時間などで、チャレンジデー用のプログラムを実施する場合は対象となります。※参加者がチャレンジデーに参加したという意識が必要。  
・多くの人が楽しんで参加できるような、ユニークで特徴的なプログラムや、イベントを企画・実施することで参加率も上がります  
(地元発祥のスポーツ、郷土の踊り・ダンスなど)

・原則として、農作業や清掃活動は対象となりません。但し、それらの活動に、スポーツ性を加えた場合は対象となります。

(例) ・清掃活動×ウォーキング→「クリーンウォーキング」

・普段、駅まで自家用車で行っているが、チャレンジデー当日は駅まで歩いて行く  
(ノーマイカーデー)

※必要なことは、「**チャレンジデーに参加している!**」という意識を持って参加し、スポーツの良さを実感いただくことです。チャレンジデーをきっかけに、継続的に運動やスポーツに親しんでもらうことが重要であり、チャレンジデー実施の目的となっております。

#### 【参加報告】

15分間以上運動やスポーツをした人は、参加の報告をします。

基本的には参加者本人による自己申告です。報告は以下の方法があります。

- ・電話、FAX、電子メールなどで集計センターに報告
- ・スポーツ施設や公民館などに集計BOXを数カ所設置し、報告用紙を投函
- ・グループ単位での参加は、代表者が集計センターに報告 など

※集計方法はチャレンジデー実施自治体により様々な方法があります。

#### 《注意事項》

##### ダブルカウントの禁止

- ・当日、参加者は様々なイベントやプログラムに何回チャレンジしても良いですが、公正な参加率を算出するため、参加報告は「1人1回(票)」としてください。
- ・チャレンジデーは、様々なスポーツがある中で、自分に合ったスポーツを見つける絶好のチャンスでもあります。多くの人にたくさんのスポーツを体験・参加していただくことは大切ですが、参加報告は「1人1回(票)」であることを、あらかじめ住民はじめ関係者に周知願います。

#### 《笹川スポーツ財団からのご提案》

- ・参加率の集計は、1時間ごとに取りまとめ、庁舎の入口付近など、大勢の住民の目に留まる場所で公開することをお奨めします。参加率を住民に刻々と知らせることで、まだ参加していない住民の参加意欲を高め、チャレンジデーへの関心を促すことが可能となります。同時に対戦相手の参加率を知らせることも効果的です。また、新聞・テレビ・ラジオなど、地元報道機関からの問合せにもスムーズに対応することができます。
- ・参加報告の受付の際に、簡単なアンケートを実施することで、住民のスポーツや運動に関する意識や要望を把握することができ、貴重なデータを収集することができます。また報告用紙に調査項目を入れるのも一案です。

#### 【参加報告の締切】

チャレンジデーは午後9時に終了しますが、住民からの参加報告の締切りは、午後9時30分までとします。これ以降の参加報告は無効となることを、あらかじめ住民や関係者に周知願います。

#### 【旗の掲揚】

対戦に敗れた自治体は相手の健闘を称え、翌日から1週間、庁舎のメインポールに対戦相手の自治体旗を掲揚していただきます。

- ・掲揚の方法は特にルールはありません。エール交換などで対戦相手と連絡する際、旗の掲揚方法を事前に相談などしてはいかがでしょうか。
- ・対戦相手の旗はチャレンジデーの実施中、庁舎の入口など目に付く場所に飾るなどすると、住民の関心が高まり、参加率アップにつながる可能性もあります。
- ・最近では勝敗に関係なく、お互いの健闘を称え、両自治体の旗を掲揚することが一般的になっています。

## 2) 参加率の集計報告について

- 【報告時間】 参加者数、参加率を以下の時間に笹川スポーツ財団に報告してください。  
笹川スポーツ財団では以下の3回全自治体の参加率を取りまとめ、ホームページや報道機関に公表いたします。

〔第1回報告締切〕	午後1時	〔笹川スポーツ財団からの公表〕	午後1時30分	(予定)
〔第2回報告締切〕	午後5時	〔笹川スポーツ財団からの公表〕	午後5時30分	(予定)
〔 <b>最終報告締切</b> 〕	午後10時	〔笹川スポーツ財団からの公表〕	午後11時	(予定)

- ・1ヵ所でも報告が遅れると公表できません。時間厳守をお願いいたします。
- ・参加率の途中経過を対戦相手と報告し合うことは構いませんが、最終参加率は笹川スポーツ財団からの公式発表をお待ちください。

- 【報告方法】 参加者数、参加率の報告は、集計報告専用 web サイトを介して行っていただきます。
- ・専用ページからアクセスし、「参加者数」を入力します。(参加率は自動計算)
  - ・事前に操作テストを行います。操作方法などの詳細は、後日、改めてご案内いたします。

- 【結果発表】 チャレンジデー当日の午後11時頃に笹川スポーツ財団のホームページで公式発表いたします。  
全国の報道機関には、FAX一斉送信でお知らせします。



### 3. 全国共通イベントの実施について

笹川スポーツ財団ではチャレンジデーに取り組む各自治体が、共通のルールにより参加できるスポーツイベントを実施しております。これらを実施することで、チャレンジデー参加者相互の交流を広げ、事業を盛り上げます。

【種 目】 今年には昨年に引き続き以下の4種目を実施いたします。

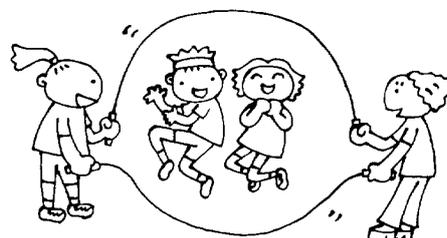
- ・ロープ・ジャンプ・X
- ・ロープ・ジャンプ・EX
- ・スポーツごみ拾い
- ・空き缶積み上げ

各種目のルール等については、笹川スポーツ財団ホームページをご覧ください。  
[http://www.ssf.or.jp/practice/challenge/about\\_event1.html](http://www.ssf.or.jp/practice/challenge/about_event1.html)

【実施申込】 自治体の参加種目・参加チーム数に制限はありません。  
申込締切：4月下旬  
詳細はメールニュースでご案内いたします。

【結果報告】 自治体ごとに参加チームの記録を取りまとめ、各種目の「記録報告用紙」をご提出ください。  
提出期限：6月7日（金）  
各種目の記録報告用紙については、笹川スポーツ財団ホームページよりダウンロードしてください。  
詳細はメールニュースでご案内いたします。

【結果発表】 笹川スポーツ財団ホームページにて掲載いたします。  
チャレンジデー実施後のセミナー・メダル認定証授与式（7月～8月を予定）にて、全国1～3位を表彰します。



## 4. 助成金の申請

### 1) 申請団体

チャレンジデー2013 の実施に伴う助成金の申請は、チャレンジデー実施のために組織した実行委員会からご提出願います。助成金のお支払いにより、チャレンジデー事業は、笹川スポーツ財団の助成事業として実施していただきます。

※チャレンジデーは自治体での実施がルールです。しかし、実際の開催には自治体の代表である市町村長を中心とし、行政と体育協会やレクリエーション協会、スポーツ推進委員等、民間団体との相互協力なしでは実施不可能であるため、市町村長を代表者(会長・委員長)とした実行委員会を組織していただきます。

### 2) 申請方法

#### 【書類の作成手順】

申請書類については、笹川スポーツ財団ホームページよりダウンロードしてください。

①申請書に添付してある「助成金経費一覧」、「記入例」をご確認のうえ作成してください。

②原則、word(ワード)で作成してください。(手書きも可)

③申請書表紙の実施団体名および代表者名には、必ず団体印と、代表者印を押印してください。(どちらか1箇所でも可能)

なお、実施団体名と異なる名称での申請は無効です。

※実施団体名は、「市町村名+チャレンジデー実行委員会」となります。

(例) 可: ○○市チャレンジデー実行委員会

不可: □□市教育委員会、◇◇総合型地域スポーツクラブ

④書類不備の場合は、申請書を受理できませんので、ご注意願います。

#### 【添付書類】

助成金申請書に以下の書類を添付し、ご提出ください。

- ・実行委員会の規約・会則、組織図
- ・助成金振込口座の通帳のコピー(口座は原則、実行委員会名)
- ・市町村のスポーツ振興計画(作成している自治体)
- ・市町村要覧

#### 【助成金限度額】

本助成金は、チャレンジデー2013 の実施に伴う経費の全額を助成するのではなく、助成対象経費の一部を助成するものです。助成金は、以下の通り、人口規模に応じた助成金限度額を設け、それを超えることなく、且つ、補助率の範囲内となります。

カテゴリー	人口規模	助成金限度額	補助率
1	4,999 人以下	250,000 円	原則 80%以内※
2	5,000 人～9,999 人	340,000 円	
3	10,000 人～29,999 人	470,000 円	
4	30,000 人～69,999 人	550,000 円	
5	70,000 人～249,999 人	750,000 円	
6	250,000 人以上	1,000,000 円	

※人口規模は、2013 年 2 月 1 日付住民基本台帳登録者数に準じます。

※初実施の自治体に限り、補助率は 90%以内とします。

### 3) 申請書の提出期間・方法

- 【受付期間】 **2013年3月6日(水)～2013年3月29日(金) ※消印有効**
- 【提出方法】 郵送 (必要書類一式)
- 【提出先・問合せ】 笹川スポーツ財団 研究調査グループ チャレンジデー担当  
〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11階  
TEL : 03-5545-3303 FAX : 03-5545-3305 E-mail : cday@ssf.or.jp

### 4) 申請書の内容確認 (助成金額の決定)

申請書受理後、笹川スポーツ財団にて申請内容を精査・確認し、助成金額を決定いたします。

※精査・確認の結果、助成金額が申請金額通りとならない場合もございます。予めご承知おきください。  
※助成金額は、4月下旬に「助成金決定通知書」により、ご通知いたします。なお、同通知書に「請書(うけしょ)」を同封いたしますが、請書に必要事項をご記入のうえ、笹川スポーツ財団にご返送(提出)いただいた時点で、助成事業の契約が結ばれたこととなり、以降、助成金の振込手続きとなります。

### 5) 助成金のお支払い (助成金の振込)

- 【助成金の振込】 上記4)により、助成金の振込手続きとなります。  
振込日 : 5月中旬以降(予定)  
振込確認後、所定の「領収書」をご提出ください。

- 【金額の算出方法】 助成金の申請に関する計算については、以下をご参照ください。

例1: カテゴリー1の〇〇町が3回目のチャレンジデーの実施に関し、助成対象経費の予算を300,000円として助成金を申請した場合

$$300,000 \text{円 (助成対象経費)} \times 80\% \text{ (補助率)} = 240,000 \text{円 (助成金申請額)}$$

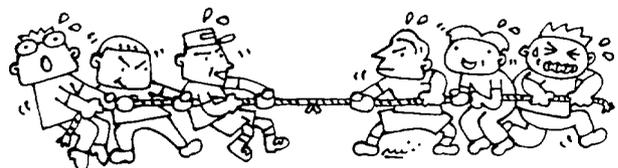
カテゴリー1の助成金限度額は250,000円ですが、申請額は240,000円となります。

例2: カテゴリー1の△△町が3回目のチャレンジデーの実施に関し、助成対象経費の予算を380,000円として助成金を申請した場合

$$380,000 \text{円 (助成対象経費)} \times 80\% \text{ (補助率)} = 304,000 \text{円}$$

この場合カテゴリー1の助成金限度額は250,000円なので、助成金申請額は304,000円ではなく、250,000円となります。

※助成対象額に補助率を乗じた場合で、助成金限度額を超える場合は、その限度額が助成金の申請金額となります。



## 5. 事業完了報告書の提出

### 1) 事業完了報告書の提出期間・方法

- 【受付期間】 後日、改めてご案内いたします。  
【提出方法】 郵送（必要書類一式）  
【提出先・問合せ】 笹川スポーツ財団 研究調査グループ チャレンジデー担当  
〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11 階  
TEL : 03-5545-3303 FAX : 03-5545-3305 E-mail : cday@ssf.or.jp

※報告書には、笹川スポーツ財団が定める助成対象経費に該当する使用経費の全てに支払証憑（領収書のコピー）が必要となります。支払証憑（領収書のコピー）が無いものは全て助成の対象外となりますので、十分にご注意いただき、準備、対応をお願いいたします。なお、支払証憑（領収書のコピー）の宛名は、申請いただいた実行委員会名としてください。

※助成事業完了報告書の様式、作成方法等につきましては、改めてご案内いたします。

### 2) 助成金額の確定方法

- 【金額の確定方法】 助成金限度額、補助率、助成金申請額(確定額)については、以下をご参照ください。

例：助成金申請額 550,000 円のカテゴリー4 の実施団体において、助成対象経費の合計が 600,000 円となった場合

$$600,000 \text{ 円 (助成対象経費)} \times 80\% \text{ (補助率)} = 480,000 \text{ 円 (助成金確定額)}$$

$$550,000 \text{ 円 (助成金振込額)} - 480,000 \text{ 円 (助成金確定額)} \\ = 70,000 \text{ 円 (差異)}$$

よって、差異の 70,000 円は笹川スポーツ財団に返還いただくこととなります。

※この場合、助成対象経費合計額が 687,500 円を下回らない場合は、返還とはなりません。

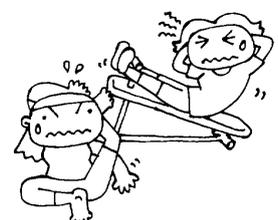
$$(687,500 \text{ 円} \times 80\% = 550,000 \text{ 円})$$

助成対象経費が 700,000 円で決算した場合は、以下となります。

$$700,000 \text{ 円 (助成対象経費)} \times 80\% \text{ (補助率)} = 560,000 \text{ 円}$$

助成金限度額は 550,000 円であるため、助成金確定額は 550,000 円となります。

助成金限度額超過分 10,000 円 (560,000 円 - 550,000 円) は全額自己負担となります。



## 6. チャレンジデーレポートの製作について

笹川スポーツ財団ではチャレンジデー実施後にレポートの製作をしており、参加率や参加人口の結果だけでなく、イベント・プログラム内容や、参加状況、担当者からのメッセージ、新聞記事などの切り抜きを一目できるようにしております。これは実施報告書となるばかりでなく、多くの自治体にチャレンジデーを周知するためのツールとしても有効なものです。

### 1) レポート用報告書の提出期間・方法

- 【受付期間】 後日、改めてご案内いたします。  
【提出方法】 後日、改めてご案内いたします。  
【提出先・問合せ】 笹川スポーツ財団 事業部 チャレンジデー担当  
〒107-6011 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 11階  
TEL : 03-5545-3302 FAX : 03-5545-3305 E-mail : cday@ssf.or.jp

※従来はイベント・プログラム内容、製作物、協力関連、スタッフやボランティア、報道関連等についてのご報告と、担当者からのメッセージ、状況写真や新聞記事等をご提出いただいております。年度によって内容に多少変更が生じますのでご了承ください。

※レポート用報告書の様式、作成方法等につきましては、改めてご案内いたします。

## 7. チャレンジデー実施自治体へのサポート

チャレンジデーの周知を目的にポスターとTシャツの支援（配布）を予定しております。

### 1) ポスターの配布について

- 【サイズ】 B2判サイズ 4色カラー  
【配布数】 配布数は、例年同様カテゴリー別に設定いたします。  
今年の配布数については、以下のとおりを予定しております。

カテゴリー	配布枚数
1	100
2	150
3	200
4	250
5	300
6	350

### 2) Tシャツ配布について

- 【サイズ】 S、M、L、LL  
【配布数】 配布数は、カテゴリー別に設定いたします。  
今年の配布数については、以下のとおりを予定しております。

カテゴリー	配布枚数
1～3	40
4・5	50
6	70

